



ならぬことは ならぬものです

江戸時代、会津藩では、藩士の子どもは10歳になると藩校・日新館に入って学問や武芸を習うことになっていました。6歳から9歳までのまだ藩校には入れない子どもたちは、町ごとにつくられた「什（じゅう）」という集まりで、会津武士としての“心構え”を身につけていたそうです。

「什」には、自分たちだけでつくった「什の掟」という約束事がありました。「年長者を敬うこと」「嘘を言わないこと」「卑怯なことをしないこと」「弱い者をいじめないこと」などです。それを守れないことは、人間として恥ずかしいことだとして、「ならぬことはならぬものです」と、徹底して教え込まれました。「什の掟」はただの目標ではなく、もし、背いた場合は、口頭謝罪から追放まで厳しい罰があったそうで、その時は、親と共に仲間にお詫びをしなければなりませんでした。

「ならぬことはならぬものです」という言葉には、「人として生きるためには、理屈や言い訳は通用しない絶対にやってはいけないことがある」という意味が込められているのです。



会津藩の子どもたちに、「嘘をつかない」「自分がされて嫌なことは他人には決してしない」という基準があったように、家庭や個人によっても、「わがままは言わない」「人に迷惑をかけない」など、物事を判断したり行動したりするときの基準はあるはずです。

学校にも基準があります。それは「自分のためにも友だちのためにもならない行い」はしてはいけないということです。

例えば、授業中、使う必要のない時にタブレットを使っていたり、授業と関係のないことをしているとしたら、それは「自分のため」になっていません。また、友だちが授業に集中している中、おしゃべりをしたり、立ち歩いたりしていたとすれば、それは「友だちのため」になっていませんし「自分のため」にもなっていません。

どのような時であっても、周りの人を幸せな気持ちにし、自分も高めるような、そのような基準を子どもたちがしっかりともち、我慢すべき時は我慢し、友だちと心を通わせながら楽しい日々を過ごしてほしいと思います。



子どもですから、判断を誤ることもあります。その時、「気持ちはよくわかるけど、こうした方がよかったんじゃない？」「どうすればよかったと思う？」と、なぜそんなことになったのか、自分の行動を振り返らせ、「自分のためにもなり、友だちのためにもなる」には、どうすればよかったかをしっかりと考えさせることが必要だと思います。

ならぬことはならぬものです。

学校経営の方針について

12月に学校関係者評価（保護者アンケート）を行います。「学校経営方針」の概要を示し、ご意見をいただいたうえで、「令和5年度 学校経営方針」を策定させていただきます。

<目指す児童像>

- まなびいっぱいの子ども（確かな学力）
- やさしさいっぱいの子ども（豊かな心）
- げんきいっぱいの子ども（健やかな体）

子どもたちは皆、学びたい、人にやさしくしたい、元気でありたい、という気持ちをもっていきます。学校生活の中で、自尊感情を育み、子どもたち一人一人の自己実現を図ります。

<目指す教師像>

- 心身ともに健康で、信頼と期待に応える教師
- 子どもに寄り添い、共感することができる豊かな人間味のある教師
- 研修に励み、確かな指導力のある教師
- 組織の一員として協働体制に努め、使命感・責任感のある教師

子どもにとって、最大の教育環境は教師自身です。子どもの無限の可能性を信じ、励まし続け、子どもの「やる気」を引き出します。一人一人の創意と工夫、能力を生かし、教職員の自己実現を図ります。

<地域とともにある学校づくり>

- 保護者や地域の方に信頼される、地域とともにある学校
- 地域学校協働本部との連携
- 児童の安全・安心を地域で見守る体制の構築

地域学校協働本部と連携し、学校ボランティアや地域の人材の活用を図ります。また、積極的に学校情報を発信（各種たより、ホームページ、メール配信等）し、相互理解と信頼関係の醸成を図ります。

おめでとう！ブラスバンド部

10月9日、第11回 日本学校合奏コンクール千葉県大会に出場しました。

今まで練習を積み重ねてきた「大いなる約束の大地～チングス・ハーン」を演奏しました。結果は、なんと『金賞』。しかも『会長賞』。第1位の栄冠に輝きました！

☆部員の感想☆

「7月の千葉県吹奏楽コンクールは、コロナのため、やむなく出場を辞退しましたが、今回のコンクールを新たな目標として頑張ってきました。『金賞』をとれてとてもうれしいです！」
「『伝説』をつくりました！」
「部のみんなと喜び合いました。応援してくれた家族や友だちとも喜びを分かち合いたいです。みんなに感謝です！」



今月の5日（土）に、福島県郡山市で行われる「グランドコンテスト全国大会」に出場します！

健闘をお祈りいたします！